



総務省

e-かわらばん近畿

近畿総合通信局

2020年1月22日

第278号 1/2

あなたのそのアイデアがミライになる 「ミライノピッチ2019」を開催

近畿総合通信局は、大阪イノベーションハブ（OIH）、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）と共に、2019年12月14日に大阪市内で「ミライノピッチ2019」を開催しました。

本イベントは、ICTベンチャーの起業家を目指す方のビジネスプランの事業化を支援する取組で、起業家支援の拠点であるOIHと連携して開催したものです。

当日は学生部門5チーム、一般部門6チームが登壇し、近畿総合通信局長賞、NICT賞をはじめとした賞を受賞しました。このうち、NICT賞を受賞したチームは、総務省とNICTが共催して

2020年3月に開催する「起業家甲子園・起業家万博」へ出場します。

「起業家甲子園・起業家万博」
出場チーム



【近畿総合通信局長賞 一般部門】
クロスエッジ代表 渡辺 尚志氏
「認知症予防を実現する高齢者見守り&ヘルスケアシステム」



【近畿総合通信局長賞 学生部門】
大阪大学 三田 真志郎氏
「Paro Tone：敷居が低く、奥が深いポータブル電子楽器」

【NICT賞 一般部門】
エニシア株式会社
代表取締役 小東 茂夫氏
「カルテ要約支援AIソフトウェア
「SATOMI」の開発・販売」

【NICT賞 学生部門】
関西学院大学 西田 裕哉氏
「現地ガイドと訪日外国人のマッチングサービス「GUIBO」」

「CATVの高度化と安全・信頼性向上に関するセミナー」を開催

近畿総合通信局は、2019年11月29日、大阪市内で「CATVの高度化と安全・信頼性向上に関するセミナー」を開催し、54名が参加しました。



セミナーの様相

本セミナーは、近畿地方のCATV事業者を対象に、政策の動向や災害に対する危機管理意識を共有することで、放送ネットワークの高度化、安全信頼性の確保につなげることを目的に開催したものです。

セミナーでは、総務省からCATVを巡る政策動向や5Gの展開についての説明、(株)ジェイコムウエストから一昨年の台風21号対応など自然災害への取組についての紹介、マスプロ電気(株)からCATVにおける最新技術の紹介がありました。

併せて、管内事業者を対象に行った災害対応に関するアンケート調査の結果を紹介し、耐災害性の強化、放送する災害情報及び自治体との連携状況等について現況を紹介し、情報を共有しました。



近畿総合通信局
公式 SNS

編集・発行

近畿総合通信局総務部総務課企画広報室

〒540-8795 大阪市中央区大手前1-5-44
大阪合同庁舎第1号館

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/>



総務省
近畿総合通信局

Kinki Bureau of Telecommunications

電話：06(6942)8508



はじめ
ました





総務省

水害から身を守る避難行動を起こしてもらうために - 「防災情報通信セミナー2019」を開催 -

近畿総合通信局は、2019年12月4日、大阪市内で関係団体と共に「防災情報通信セミナー2019」を開催し、自治体の防災関係者など142名が参加しました。

本セミナーは、近年頻発する集中豪雨や河川氾濫による水害からの被害を最小限に抑える観点から、「確実に情報が伝わり避難行動を起こしてもらうために、情報通信分野に求められていること」を考えようと開催したものです。



挨拶する佐々木局長

はじめに主催者を代表して、近畿総合通信局の佐々木祐二局長が「台風19号など、日常生活を脅かす想定外の災害が多発している。発災前に届けたり、SNSの活用など情報通信の果たす役割に期待したい。」と挨拶しました。

講演では、まず最初に大阪管区気象台気象防災情報調整官の弘田実氏から「防災気象情報を利用して大雨による災害から身を守る」と題して、災害情報発表のタ

イミングのほか、危険度の高い場所の「危険度分布」の防災利用などについて紹介しました。

次に、(国研)防災科学技術研究所コーディネーターの花島誠人氏から「SIP4Dを活用した災害情報共有の取り組み」と題して、災害対応に必要な情報を収集し、利用しやすい形式に変換して迅速に配信する機能を備えた、防災情報の流通ネットワークである「SIP4D」について紹介しました。

最後に、関西大学社会安全学部教授の元吉忠寛氏から「災害情報の高度化は人々の避難行動を促進するのか？」と題して、避難したいと思う快適な環境を整えることで避難に対するハードルを下げ、実際の避難行動につなげていく必要性を説明しました。

講演に並行して災害対策用機材の展示ブースも開設し、メーカー担当者による説明も行いました。



当局ブースでは、臨時災害放送局の設備を展示・説明しました。

2020年サイバーセキュリティ月間が始まります

- 2020年2月1日から3月18日まで -

セキュリティをテーマに、関西の有識者に行ったインタビューを、期間中毎日配信します

政府では、毎年2月1日から3月18日までを「サイバーセキュリティ月間」とし、サイバーセキュリティに関する普及啓発活動を強化しています。

近畿総合通信局及び近畿経済産業局は、関西を拠点とする有識者や企業トップ等に対して「経営課題としてのセキュリティ」をテーマにインタビューを行いました。

その内容を60秒で読める記事に編集し、月間中、両局のホームページなどで毎日配信します。【合計31回】

